

諏訪市長 金子 ゆかり 様

政 策 提 言 書

子育て支援に向けた提言

諏 訪 市 議 会 社 会 文 教 委 員 会

委 員 長 近 藤 一 美

副 委 員 長 藤 森 綾 子

委 員 森 山 博 美

委 員 牛 山 実 弦

委 員 大 津 学

委 員 牛 山 正

委 員 伊 藤 浩 平

令 和 6 年 8 月

社会文教委員会では、令和 5 年度、保育園登園時の保護者負担を軽減する等、先進的な「子育て支援」に取り組んでいる石川県の各自治体へ行政視察を行いました。

かほく市では登園時の布団の持ち運びを楽にするお昼寝ベッドを導入するとともに、「コドモン」と連携した「おむつのサブスク（定額料金で一定期間、おむつを利用できる仕組み）事業」、七尾市と小松市では共に民間企業と連携した「未満児クラスおむつ・おしりふき持参不要事業」や「赤ちゃん紙おむつ定期便事業」を展開する等、いずれも保護者の目線に立った「子育て支援」に資する取組でありました。

また、上記行政視察も踏まえ、昨年度導入された「コドモン」や保育現場が抱える問題点等を把握するため、諏訪市立保育園 13 園全園を委員が訪問し、各園長・保育士、保護者の皆さまから直接お声を聞いてまいりました。

こうした背景のもと当委員会は、今の諏訪市に必要な子育て支援として、次のとおり政策提言いたします。

子育て支援に向けた提言

1. 「ひろがる笑顔 ゆめ保育所プラン」の早急な推進を求める。
 - (1) 小規模保育園の統合・集約を早期に推進すること。
下記①②の効果が期待できると考えられるため統合・集約の動きを加速させるとともに、実現する際は、③④についても検討されたい。
 - ① 適正規模・適正配置の実現により、保育士の確保の最適化が図られ、子どもたちが集団生活に適応し、小学校生活へのスムーズな移行に期待できる。
 - ② 行事撮影費の単価が高い等、小規模保育園の保護者が抱える負担問題の軽減につながる。
 - ③ 小規模保育園の閉鎖や統合に伴い、不要となった冷暖房設備をリズム室等に有効活用すること。
 - ④ 新しい園舎建設時には、安全な駐車場の確保を必須とすること。
2. タブレット端末を各クラス担任に配布することを求める。
 - (1) 最低、各クラス担任1人に1台のタブレット端末を配布すること。
現状、クラス担任101人に対し打刻用を含め、タブレット端末が99台しか配布されていない。そのため、登園時等タブレットを所持しない担任は、別部屋でパソコンを用いる業務を行うことがあり、不便を強いられている。よって、保育士業務の軽減に寄与すると考えられるため、配布されたい。
3. コドモンの機能拡充を求める。
 - (1) カレンダーや連絡帳機能の活用及び、延長保育等の精算機能を導入すること。
行事の変更等をスムーズに連絡・周知できるとともに、延長保育精算業務の時間短縮及び改善が図られると考えるため、検討されたい。
 - (2) コドモンの機能拡充に伴い、有効活用できるよう全ての保育士に対し操作研修を行うこと。